



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月31日

上場会社名 タカノ株式会社 上場取引所 東証一部
 コード番号 7885 URL <http://www.takano-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鷹野 準
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画室長 (氏名) 臼井 俊行 TEL (0265) 85-3150

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績 (平成19年4月1日 ～ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	5,931 △19.8	354 △63.0	372 △61.2	210 △62.7
19年3月期第1四半期	7,394 8.6	957 9.4	961 8.3	564 65.4
19年3月期	26,771	1,914	2,010	998

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	13 38	— —
19年3月期第1四半期	35 89	— —
19年3月期	63 53	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	35,563	27,634	77.7	1,757 93
19年3月期第1四半期	35,574	27,401	77.0	1,743 13
19年3月期	36,573	27,741	75.9	1,764 75

2. 配当の状況

	1株当たり配当金	
(基準日)	第1四半期末	
	円	銭
19年3月期第1四半期	—	—
20年3月期第1四半期	—	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想（平成19年4月1日～平成20年3月31日）【参考】
業績予想につきましては、平成19年5月8日の決算発表時に公表した予想に修正はありません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
[新規 一社 除外 一社] : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有
- [(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この業績予想に全面的に依拠して投資等の判断を行うことはお差し控えください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景とした民間設備投資の増加、雇用環境の改善、個人消費の持ち直しなどにより、景気は緩やかな回復基調が続いたものの、石油製品、化学製品、非鉄金属等、原材料の上昇は引き続くなど企業を取り巻く環境は、予断を許さない状況で推移いたしました。

このような環境の下、当第1四半期の売上高は5,931百万円（前年同四半期比19.8%減）、営業利益は354百万円（同63.0%減）、経常利益は372百万円（同61.2%減）、四半期純利益は210百万円（同62.7%減）となりました。

（セグメント別の状況）

【OEM事業】

OEM事業では、主力製品がかかわるオフィス家具業界は企業収益の改善にともなうオフィスに関する設備投資意欲の拡大を背景とした大口物件需要が増加したこと等により需要は堅調に推移し、当社におけるオフィス椅子の販売も対前年同四半期比19.1%増と増加基調にあったこと等により、売上高は前年同四半期比281百万円（12.4%）増の2,551百万円となりました。営業損益においては、事業全般にわたり積極的な合理化に努めたほか、販売増により生産効率が向上したこと等により、前年同四半期比44百万円損益が改善され、30百万円の営業利益となりました。

【エレクトロニクス関連事業】

エレクトロニクス関連事業では、液晶パネル価格の低下等にとまなう台湾および韓国液晶パネルメーカーの収益の悪化等による、液晶製造設備投資の抑制を受け、売上高は前年同四半期比1,746百万円（36.1%）減の3,091百万円となりました。営業利益においては経費削減等、積極的なコストダウンの推進を行ったものの、装置価格の低下および操業の低下にとまなう収益性は悪化し、前年同四半期比607百万円（67.4%）減の293百万円となりました。

【その他の事業】

その他の事業の外部顧客に対する売上高は、前年同四半期比2百万円（0.9%）増の287百万円となりました。しかしながら、営業利益は画像処理検査装置に関連した内部売上高の減少等にとまなう操業度の低下等により、前年同四半期比54百万円（93.6%）減の3百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は、35,563百万円となり、前連結第1四半期末に比べ10百万円減少しました。純資産合計は27,634百万円となり、前連結第1四半期末に比べ232百万円増加した等のため、自己資本比率は77.7%と0.7ポイント改善いたしました。

資産の部については、前連結第1四半期末に対し、主に受取手形及び売掛金が885百万円増加したものの、現金及び預金が232百万円、棚卸資産が297百万円減少したこと等により、流動資産が60百万円減少し、23,418百万円となりました。固定資産合計は49百万円増加し、12,144百万円となりました。

負債の部については、主に未払法人税等が268百万円減少したこと等により、負債合計は243百万円減少し、7,929百万円となりました。

純資産の部については、利益剰余金が330百万円増加したこと等により、純資産合計は27,634百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、引き続き、企業業績の改善にとまなう個人消費の改善により回復基調で推移していくものと思われますが、原油・素材価格の高止まり等の懸念もあり、その回復テンポは緩やかになっていくものと考えられます。

当社グループOEM事業の主力であるオフィス家具業界においては、一部素材価格のさらなる高騰も懸念されるものの、今後も引き続き、首都圏における大規模オフィスビル建設にとまなう大口物件需要が期待され、堅調に推移するものと思われます。

当社グループエレクトロニクス関連事業の主力である画像処理検査装置が関連する業界においては、大画面薄型テレビの需要は拡大傾向ではあるものの、液晶パネルメーカーは引き続き設備投資を手控えること等により、液晶検査装置需要も低調に推移するものと考えられます。

このような状況のもと、OEM事業においては引き続き、商品開発力のさらなる強化、新規取引先の開拓および経営効率の向上を図るための思い切った合理化に注力するとともに、エレクトロニクス関連事業においては、次世代基板液晶製造ライン向け受注活動の強化、コア技術開発・徹底した装置のコストダウンの推進およびFPD以外の検査装置分野を含む新市場への参入を果たすための営業活動に注力し、事業基盤の安定および拡充を図ってまいります。

なお、OEM事業の主力製品であるオフィス家具の需要は季節性を有しており、例年第4四半期が最需要期となっております。

以上の見通しにより業績予想につきましては、平成19年5月8日の決算発表時に公表した予想に修正はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

①棚卸資産に関して、実地棚卸を行わず、帳簿棚卸によっております。

②税金費用に関して、法人税等の計上基準は法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

③その他、影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続を用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

平成 19 年度の法人税法改正にともない、当連結四半期会計期間より、平成 19 年 4 月 1 日以降取得した有形固定資産については「新定率法」を採用しております。この変更にもなう影響額は軽微であります。

また、当連結四半期会計期間より、平成 19 年 3 月 31 日以前に取得した有形固定資産のうち、償却可能額までの償却が終了しているものについては、残存簿価を 5 年間で均等償却しております。この変更にもなう影響額は軽微であります。

5.（要約）四半期連結財務諸表

(1)（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：千円未満切捨、％）

	前年同四半期末 平成19年3月期 第1四半期	当四半期末 平成20年3月期 第1四半期	増 減		（参考）前期末 （平成19年3月期末）
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
（資産の部）					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	5,478,363	5,245,613	△232,750	△4.2	4,688,754
2. 受取手形及び売掛金	14,351,391	15,237,066	885,674	6.2	16,150,324
3. 有価証券	177,037	149,699	△27,338	△15.4	149,477
4. 棚卸資産	2,593,044	2,295,302	△297,741	△11.5	2,891,606
5. 繰延税金資産	265,387	286,901	21,514	8.1	297,010
6. その他	624,527	332,738	△291,789	△46.7	297,277
7. 貸倒引当金	△10,954	△128,791	△117,836	—	△128,791
流動資産合計	23,478,798	23,418,531	△60,267	△0.3	24,345,661
II 固定資産					
（1）有形固定資産					
1. 建物及び構築物	1,830,593	1,756,723	△73,870	△4.0	1,791,096
2. 機械装置及び運搬具	859,189	834,331	△24,858	△2.9	843,160
3. 土地	4,399,457	4,399,457	—	—	4,399,457
4. その他	390,841	385,991	△4,849	△1.2	422,078
有形固定資産合計	7,480,082	7,376,503	△103,579	△1.4	7,455,792
（2）無形固定資産	80,209	115,589	35,379	44.1	117,936
（3）投資その他の資産					
1. 投資有価証券	4,124,711	3,949,761	△174,950	△4.2	3,950,561
2. 繰延税金資産	137,844	266,412	128,568	93.3	266,244
3. その他	551,720	942,390	390,670	70.8	942,719
4. 貸倒引当金	△1,680	△228,499	△226,819	—	△228,499
5. 投資損失引当金	△277,247	△277,247	—	—	△277,247
投資その他の資産合計	4,535,348	4,652,817	117,468	2.6	4,653,777
固定資産合計	12,095,640	12,144,910	49,269	0.4	12,227,506
資産合計	35,574,439	35,563,441	△10,997	0.0	36,573,167

	前年同四半期末 平成19年3月期 第1四半期	当四半期末 平成20年3月期 第1四半期	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び買掛金	5,546,080	5,562,953	16,872	0.3	6,172,002
2. 未払法人税等	414,876	146,102	△268,774	△64.8	234,499
3. 賞与引当金	217,044	339,143	122,098	56.3	339,752
4. 役員賞与引当金	—	—	—	—	7,100
5. その他	1,192,569	960,646	△231,922	△19.4	1,107,292
流動負債合計	7,370,571	7,008,845	△361,725	△4.9	7,860,646
II 固定負債					
1. 長期借入金	91,500	253,000	161,500	176.5	287,000
2. 退職給付引当金	607,295	539,492	△67,803	△11.2	556,090
3. 役員退職慰労引当金	103,460	116,230	12,770	12.3	116,230
4. その他	—	11,560	11,560	—	11,790
固定負債合計	802,255	920,282	118,026	14.7	971,110
負債合計	8,172,827	7,929,128	△243,698	△3.0	8,831,757
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	2,015,900	2,015,900	—	—	2,015,900
2. 資本剰余金	2,355,417	2,355,417	—	—	2,355,417
3. 利益剰余金	22,718,870	23,049,410	330,540	1.5	23,153,397
4. 自己株式	△1,008	△1,033	△25	△2.5	△1,033
株主資本合計	27,089,180	27,419,695	330,515	1.2	27,523,682
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証券評価差額金	304,642	212,349	△92,293	△30.3	213,311
2. 為替換算調整勘定	1,950	2,268	318	16.3	4,416
評価・換算差額等合計	306,593	214,618	△91,975	△30.0	217,728
III 少数株主持分	5,838	—	△5,838	—	—
純資産合計	27,401,612	27,634,313	232,701	0.8	27,741,410
負債純資産合計	35,574,439	35,563,441	△10,997	0.0	36,573,167

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円未満切捨、%)

	前年同四半期 平成 19 年 3 月期 第 1 四半期	当四半期 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期	増 減		(参考) 前期 (平成 19 年 3 月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	7,394,004	5,931,544	△1,462,460	△19.8	26,771,662
II 売上原価	5,610,445	4,824,711	△785,733	△14.0	21,650,838
売上総利益	1,783,559	1,106,832	△676,726	△37.9	5,120,824
III 販売費及び一般管理費	825,894	752,641	△73,253	△8.9	3,205,886
営業利益	957,664	354,191	△603,472	△63.0	1,914,937
IV 営業外収益	11,936	24,204	12,267	102.8	118,348
V 営業外費用	8,296	5,758	△2,537	△30.6	22,610
経常利益	961,305	372,638	△588,667	△61.2	2,010,675
VI 特別利益	—	841	841	—	28,625
VII 特別損失	227	1,958	1,731	760.4	409,102
税金等調整前四半期(当期)純利益	961,077	371,521	△589,556	△61.3	1,630,198
税金費用	403,446	161,112	△242,333	△60.1	643,877
少数株主損失	△6,574	—	6,574	—	△12,412
四半期（当期）純利益	564,205	210,408	△353,796	△62.7	998,732

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期（平成19年3月期第1四半期）

	OEM事業 (千円)	エレクトロニクス関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,270,351	4,838,331	285,320	7,394,004	—	7,394,004
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	661	2,609	365,600	368,871	(368,871)	—
計	2,271,013	4,840,941	650,920	7,762,875	(368,871)	7,394,004
営業費用	2,285,227	3,939,992	592,377	6,817,596	(381,257)	6,436,339
営業利益又は営業損失(△)	△14,213	900,948	58,543	945,278	12,385	957,664

当四半期（平成20年3月期第1四半期）

	OEM事業 (千円)	エレクトロニクス関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,551,702	3,091,986	287,856	5,931,544	—	5,931,544
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,708	31	153,187	154,927	(154,927)	—
計	2,553,410	3,092,017	441,044	6,086,472	(154,927)	5,931,544
営業費用	2,522,975	2,798,688	437,310	5,758,974	(181,621)	5,577,352
営業利益	30,435	293,329	3,733	327,497	26,694	354,191

(参考) 前期（平成19年3月期）

	OEM事業 (千円)	エレクトロニクス関連事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
I. 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,414,579	13,958,843	1,398,239	26,771,662	—	26,771,662
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,854	3,399	1,725,294	1,734,549	(1,734,549)	—
計	11,420,434	13,962,243	3,123,534	28,506,212	(1,734,549)	26,771,662
営業費用	11,009,325	12,733,546	2,867,279	26,610,152	(1,753,426)	24,856,725
営業利益	411,108	1,228,697	256,254	1,896,060	18,877	1,914,937

(4) 生産、受注、販売の状況

(1) 生産実績

当連結第1四半期の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	前年同四半期比 (%)
OEM事業 (千円)	2,480,225	103.2
エレクトロニクス関連事業 (千円)	3,071,272	64.2
その他の事業 (千円)	57,465	96.2
合計 (千円)	5,608,963	77.4

(注) 金額は販売価格によっており、セグメント間取引は相殺消去しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当連結第1四半期の受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
OEM事業 (千円)	2,525,851	118.0	851,695	120.6
エレクトロニクス関連事業 (千円)	1,431,682	36.2	2,996,340	48.9
その他の事業 (千円)	366,180	112.5	97,270	242.2
合計 (千円)	4,323,713	67.3	3,945,305	57.4

(注) セグメント間取引は相殺消去しており、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当連結第1四半期の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	前年同四半期比 (%)
OEM事業 (千円)	2,551,702	112.4
エレクトロニクス関連事業 (千円)	3,091,986	63.9
その他の事業 (千円)	287,856	100.9
合計 (千円)	5,931,544	80.2

(注) セグメント間取引は相殺消去しており、消費税等は含まれておりません。

以上